

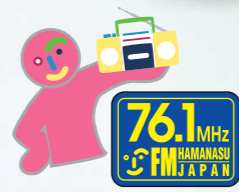
伝え続けて

毎月発行している広報いわみざわ。その歴史は古く、昭和26年8月までとかのぼります。第1号が発行されてから、2018年（平成30年）5月号で900号を数えます。

今月号は、その900号を記念して、広報の歴史を振り返ります。

問合先 市秘書課広報係

900号



市職員が出演して説明します
5月11日(金)
午後5時40分

広報の役割

広報いわみざわは、皆さんの暮らしに欠かすことのできない、健康、福祉、教育などの生活情報の提供に加え、まちづくりのビジョンや課題などの行政情報を積極的に周知するために、毎月1日に発行しています。

昔の広報は？

広報の役割は昔も今も変わりません。では、昭和26年8月に発行された第1号は、どのような内容だったのでしょうか？



第1号（昭和26年8月1日）



第1号の4ページ

名称は、岩見澤市公報。市のあゆみで4ページの紙面でした。ロゴマークには、地図記号の線路を使い、ローマ字でIwamisawaを表現しており、このことから当時の岩見澤（いわみざわ）は、鉄道道のまちであったことが分かります。

当時の山本市長の創刊のことに始まり、農業委員の選任や成人学校の開校などの行政情報が掲載されています。驚いたのは、岩ちゃんという四コマ漫画の掲載があったこと。「水道の公設共用栓が鍵付きになり、鍵がなければ水は出ない」と



この漫画は、誰が書いていたのでしょうか？絵心のある担当職員がいたのかもしれないね



広報発行の歴史

900号という歩みの中で、どのような変化があり、どのように進化してきたのか、節目の号と印象に残った表紙から振り返ります。



106号（昭和35年4月6日）

広報いわみざわに名称変更



100号（昭和34年10月8日）



42号（昭和29年12月15日）

いわみざわ市の弘報に名称変更



臨時号（昭和29年7月26日）

天皇皇后両陛下当市にお入り 国体特集号

広報いわみざわができるまで

年間計画の作成

毎月、行き当たりばったりで記事を掲載している訳ではなく、市役所の各部署からの希望を聞き、広報発行の年間計画を立てています。基本的には、その年間計画に基づき進めています。ですが、事業の進捗状況などにより、随時、見直しを行っています。

原稿をもらう

各部署から原稿を提出してもらいます。提出期限は、特集などの1ページ以上の記事が、前々月25日、市民の皆さんからの記事を掲載する「みんなのひろば」と「情報ひろば」が、前々月末となります。例えば、みんなのひろばの7月号に掲載したい記事は、5月末が提出期限となります。

編集会議

前々月の26・27日頃に、1ページ以上の記事の原稿を見ながら編集会議を行います。「この記事はどうやって伝えようか？」「こういう人の話を聞いてみよう」といった記事の方向性やページの順番、ページの担当者などを決めて、各自編集作業に入ります。編集会議では、前月号の振り返りや反省も行っていきます。

1校（1回目の校正）

ページの担当者が作成したものをチェックします。担当者含め4人で、主に文章を確認します。名前や漢字、住所、電話番号、日付と曜日的一致など、一字一句間違いがないかを確認します。この段階では、話の流れや文章が大きく変わる可能性があるので、デザインやレイアウトはほとんどしていません。



各部署での校正

1校で指摘されたものを訂正し、各部署に確認してもらいます。特集などの場合は、このやり取りが数回になります。

2校（2回目の校正）

これまでの訂正がしっかりされているかの確認を行います。デザイン・レイアウトにも取り掛かります。





9 いわみざわ

700号(平成13年9月1日)



4 いわみざわ

671号(平成11年4月1日)

上志文小と朝日小、最後の卒業式



5 いわみざわ

600号(平成5年5月1日)



7月号 いわみざわ

518号(昭和61年7月1日)

北海道 21 世紀博覧会開幕



2月号 いわみざわ

264号(昭和46年2月1日)

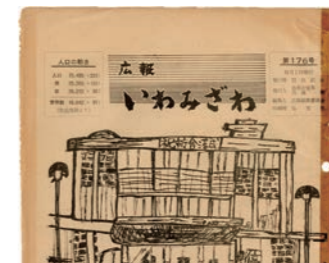
表紙が全面写真に



花の季節 いわみざわ

200号(昭和42年6月1日)

偶数月の発行が2回に



新しい市庁舎 いわみざわ

176号(昭和41年1月1日)

現市役所庁舎が落成



いわみざわ

130号(昭和37年4月7日)

広報いわみざわに名称変更



2 いわみざわ

825号(平成24年2月1日)

観測史上1位の豪雪



1 いわみざわ

800号(平成22年1月1日)

市町村合併号



4 いわみざわ

755号(平成18年4月1日)

市町村合併号



4月号 いわみざわ

719号(平成15年4月1日)

表紙が全面写真に



1月号 いわみざわ

364号(昭和52年1月1日)

新年号の表紙がカラーに



4月号 いわみざわ

317号(昭和49年4月1日)

唯一の左綴じ横書きの広報



3月3日号 いわみざわ

300号(昭和48年3月3日)



1月号 いわみざわ

280号(昭和47年1月1日)

表紙が緑と黒の2色刷り

過去の広報の表紙を見て、懐かし
いなど思った方もいると思います。
全面写真でフルカラーという表紙
も、40年以上前に取り入れられて
いたなど、その時代の担当者が、試
行錯誤しながら作っていたというの
が分かりました。



12月号 いわみざわ

883号(平成28年12月1日)

全面写真の表紙に



5月号 いわみざわ

876号(平成28年5月1日)

表紙・裏表紙をフルカラーに



10月号 いわみざわ

833号(平成24年10月1日)

大雨被害による南町の様子



2-1月号 いわみざわ

500号(昭和60年2月1日)

開基100年市制施行40周年記念号



8-1月号 いわみざわ

476号(昭和58年8月1日)

開基100年市制施行40周年記念号



11-1月号 いわみざわ

464号(昭和57年11月1日)

駒大岩見沢高校野球部が全道初制覇



2-15月号 いわみざわ

400号(昭和54年2月15日)

点訳広報

広報いわみざわの内容を点字で表
したものです。岩見沢市点訳赤
字奉仕団のご協力をいただき、作



録音したものを確認

パソコンで編集

視覚に障がいをお持ちの方に、広
報いわみざわや市議会だよりなどの
内容が録音された、録音CDをお耳
はいしやくぐを郵送しています。

声の広報

広報いわみざわの内容を読み上げ
たものです。岩見沢さつきの会
のご協力をいただき、録音してい
るものです。市ホームページの広報
いわみざわのページに、音声データ
として掲載しています。

支えてくれている方々

広報いわみざわは、皆さんのお手
元に届いているものだけではなく、
色々な広報があります。それをつ
くり、支えてくれている方々がい
ます。

納品・発送

前月の25から27日に納品となり、
順次、皆さんのお手元に配布されま
す。

発送の準備

納品後、すぐに皆さんに送付でき
るよう、宛先のラベルなどを準備し
ます。

入稿

完成したデー
タを印刷業者に
渡します。

3校(3回目の校正)

2校での訂正
がしっかりされ
ているかの確認
を行います。こ
の段階で大きな
訂正はなく、デ
ザイン・レイア
ウトの精度を高
めていきます。



広報いわみざわの 楽しみ方

広報いわみざわは、お手元に届く冊子以外にも、いろいろな読み方ができます。あなたに合った読み方はどの読み方ですか？

市ホームページで

2007年(平成19年)1月号から見るができます



アプリで

いつでも、どこでも、スマートフォンやタブレットで読むことができます

そのものを読みたい



マチイロ



iOS



Android

テキストだけを読みたい



マイ広報いわみざわ



iOS



Android

広報が動き出す



電子書籍ポータルサイトで

広報などを集めた電子書籍ポータルサイトでも見ることができます

Hokkaido ebooks



北海道の広報
まるごと検索くん



動画再生



紙面中の、このマークがある画像にスマートフォンをかざすと動画をご覧いただけます(発行日から1カ月)。利用には専用アプリ **COCOAR2** が必要です。インストール・起動後、対象画像にかざしてください。

ARって？

拡張現実 (Augmented Reality) のことで、スマートフォンを使い、現実の物や景色の上に、付加情報を表示する技術

COCOAR2



iOS



Android

市は、上で紹介したものの以外にも、コミュニティFM放送や街頭有線放送、ツイッター、フェイスブック、地上デジタル放送の活用など、発信する情報に適した手段で、市民の皆さんに情報を届けています。今後も、多様化する情報発信手段を活用しながら、より多くの世代に、効果的で効率的な広報活動を展開していきます。

次の節目の号は、1000号で、月1回発行していくと、2026年9月号になります。8年4カ月後の広報いわみざわはどんなになっているのか楽しみです。



内容を確認

何度も確認

印刷機

成しているものです。視覚に障がいをお持ちの方に、広報いわみざわや市議会だより、まなみーる案内、書籍などを定期的に、冬のくらしガイドブックや市民防災ガイドブックなどを発行の都度、点字にしたものを郵送しています。